

認知能力と非認知能力の違いとは？

これからの時代、子どもたちに本当に必要な力は？
バディグローバルスクールが重視する「認知能力」と「非認知能力」について、
保護者の皆様にわかりやすくご紹介します。



認知能力

認知能力＝道具
知識や計算力という【手段】

どんなに高性能な道具を持っても、
エンジンが動かなければ人生は進みません

+



非認知能力

非認知能力＝エンジン
道具を「どう使い、どこへ進むか」
を決める力

=



未来を生きる力

社会は予測しづらく、正解が一つではない時代です
これからの子どもたちに求められるのは、
■自分で問いを立て、
■仲間と協力しながら、
■答えを創り出していく力。
この土台になるのが非認知能力です。

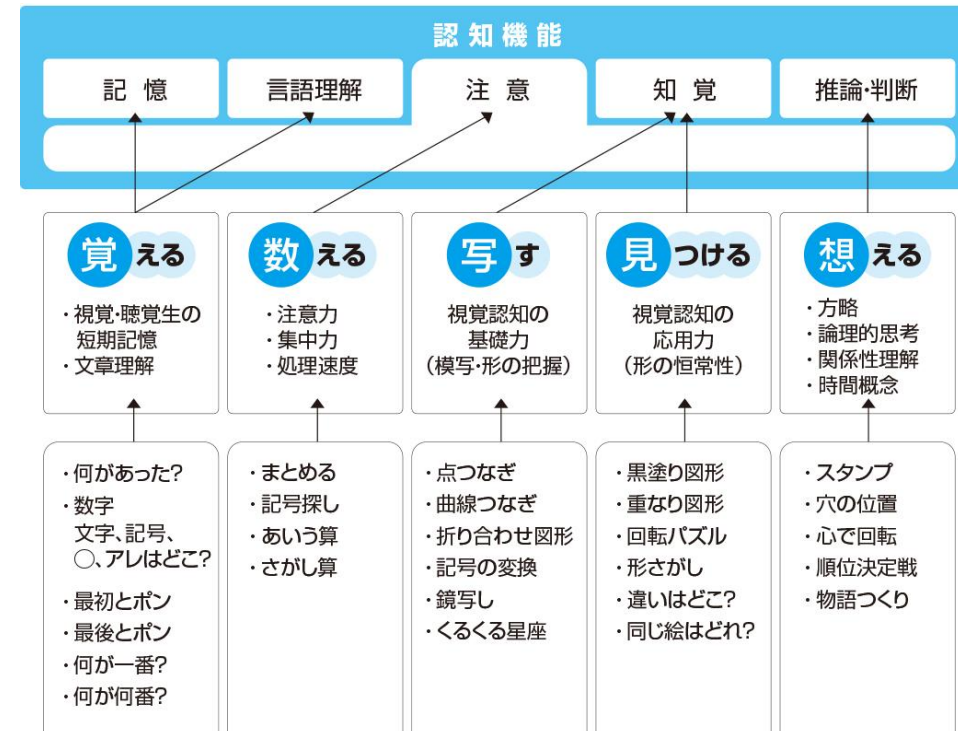


認知能力とは

認知能力とは、知識や情報を理解したり、覚えたり、考えたりする力です。学校のテストやIQなどで数値化できる「見える力」です。

認知能力の具体例

- 🧠 **記憶力**：情報を覚えて思い出す力
- 📖 **読解力**：文章を正確に理解する力
- 🧮 **計算力**：数字を操作し計算する力
- 💡 **思考力**：筋道立てて考える力
- 🗣️ **言語力**：言葉を理解し表現する力



認知能力の重要性

- ・ 学校での学習の基礎となります
- ・ 知識を体系的に身につけるために必要です
- ・ 論理的に考える土台になります
- ・ 問題解決の基礎となるスキルです
- ・ 新しい情報を処理する能力につながります

非認知能力とは

非認知能力とは、自己肯定感や協調性、忍耐力など、テストでは測れない「見えない人間力」です。学歴や偏差値では判断できない、人生の成功や幸せに大きく影響する力です。

非認知能力の具体例

- 📍 **自己肯定感**：自分を価値ある存在として認める力
- 👥 **協調性**：他者と協力して物事を進める力
- ⚠️ **忍耐力**：困難に粘り強く取り組む力
- 🔒 **自制心**：感情や衝動をコントロールする力
- 💬 **コミュニケーション力**：気持ちや考えを伝え合う力

カテゴリー	キーワード	非認知能力の具体例
目標を達成する力	忍耐力	最後までやり抜く力
	意欲	積極的に取り組もうとする力
	自己制御	自分の行動をコントロールする力
	自己効力感	自分ならできると鼓舞する力
	目標への情熱	目標に向かって集中する力
他者と協働する力	社会的スキル	社会のなかで他者と関係を築ける力
	協調性	互いに譲り合い調和を図れる力
	信頼	信頼関係を築ける力
	共感	他者の感情を理解できる力
	社交性	人や社会とうまく付き合える力
	敬意	相手を敬い尊重できる力
情動を制御する力	思いやり	相手の立場や気持ちを理解できる力
	自尊心	自分を大切にする力
	自信	自分の能力や価値を信じる力
	楽観性	前向きな気持ちを持てる力

非認知能力の重要性

- 将来の成功や幸福に強く関連しています
- 学校や職場などの社会生活の基盤となります
- 困難を乗り越える「生きる力」の源です
- AIが発達する時代こそ必要な人間固有の能力です
- 幼少期からの育成が特に効果的です

認知能力と非認知能力の違い・比較

認知能力と非認知能力は、子どもの発達と将来の成功において、どちらも重要な役割を果たします。両者はバランスよく育てることが大切です。

認知能力の特徴

- テストやIQで測定可能
- 数値化して評価できる
- 学校教育で重視されてきた
- 知識・スキルの獲得に直結

非認知能力の特徴

- 数値化が難しい内面的な力
- 人間関係や社会性に関わる
- 長期的な成功により強い影響
- 幼少期からの経験で培われる

分類	認知能力	非認知能力
具体例	記憶力、計算力、読解力、思考力、言語力	自己肯定感、忍耐力、協調性、意欲、自制心
評価方法	テスト、IQ検査など	行動観察、長期的な成果など
育成方法	学習、反復練習、知識習得	体験、コミュニケーション、挑戦
影響範囲	学業成績、知識レベル	人間関係、幸福度、社会的成功

両方のバランスが重要

最近の研究では、将来の成功には認知能力だけでなく非認知能力がより強く影響することが分かっています。バディグローバルスクールでは、両方の能力をバランスよく育てる教育を実践しています。



バディグローバルスクールで育まれる力

バディグローバルスクールでは、多様な体験型学習を通じて、認知能力と非認知能力をバランス良く育てます。子どもの個性を大切にし、「これからの時代を生きる力」を養います。

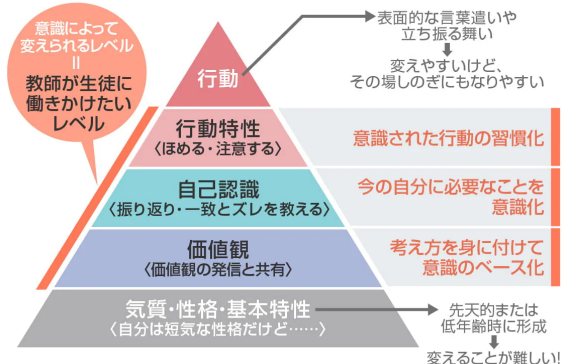
体験型学習の特徴

- 子どもの「好き」「得意」を見つける機会
- 外部の習い事に頼らないオールインワンの環境
- 実際に体験することで学ぶ実践的アプローチ
- 将来の可能性を広げる多様な経験

「体験を通して学ぶ」という教育方針は、知識の定着だけでなく、子どもたちの情熱や好奇心、協働性など非認知能力の発達にも大きく貢献します。

■ 非認知能力を伸ばすには？

— 必要な力を意識して、行動を習慣化することが大切 —



(出所) 中山氏の資料を基に東洋経済作成

多彩な学びのプログラム



英語教育

認知能力

非認知能力

言語能力だけでなく、異文化への理解や表現力も育みます



IT・プログラミング

認知能力

非認知能力

論理的思考と問題解決能力、創造性を養います



金融教育

認知能力

非認知能力

計算力と社会の仕組みへの理解、計画性を身につけます



スポーツ活動

認知能力

非認知能力

健康な体と協調性、忍耐力、チームワークを育てます



農業・自然科学

認知能力

非認知能力

知識と観察力、生命への敬意と責任感を育みます



ご家庭でできること・まとめ

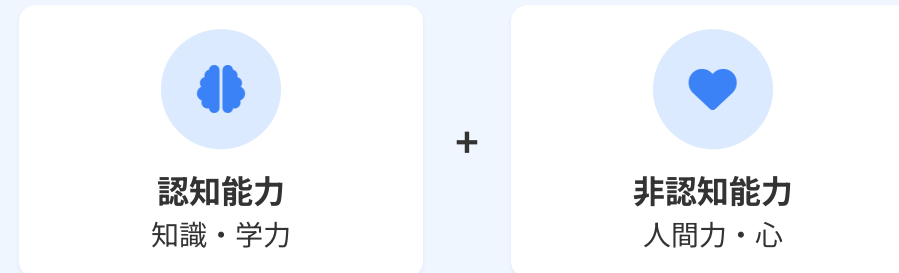
ご家庭でできること

-  **子どもの「好き」を大切に：**興味を持ったことを応援しましょう
-  **対話の時間を増やす：**家族での会話を通じてコミュニケーション力を育てましょう
-  **努力や過程をほめる：**結果だけでなく、取り組む姿勢を認めましょう
-  **多様な体験の機会：**様々な活動を通して視野を広げましょう

ポイント

子どもの成長には、学校と家庭の連携が大切です。バディグローバルスクールの教育方針をご理解いただき、ご家庭でも同じ方向性で子どもたちを応援しましょう。

認知能力と非認知能力のバランス



どちらもバランスよく育てることで、
子どもたちは未来で輝くことができます

まとめ

- 認知能力と非認知能力は互いに高め合う関係にあります
- 幼少期からバランス良く育むことが大切です
- バディグローバルスクールの体験型学習は両方の能力を伸ばします
- 家庭での関わり方が子どもの成長に大きく影響します

